

長い文章を よんで えらぼう

小3／少し長い 文章を よんで、正しい説明を2つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 リスの ふゆじたくを よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

秋になると、リスは木の 実を たくさん あつめます。あつめた 実は、地面に あなを ほって うめたり、木の あなに ためたり します。ふゆの あいだは 食べものが 少なくなるので、その ために たくわえるのです。ときどき うめた 場しよを わすれて しまい、そこから 春に 新しい 木が 生える こともあります。

- 1 リスは 秋に 木の 実を あつめて たくわえる。
- 2 リスは 夏に 実を あつめる。
- 3 うめた 実を わすれると 木が 生える ことがある。
- 4 リスは 実を すべて すぐに 食べる。
- 5 リスは 実を 川に ながす。

2 ミツバチの しごとを よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

ミツバチは 花から みつを あつめ、すに もちかえて はちみつを 作ります。花から 花へ とびまわる とき、体 についた 花ふんを はこび、花が 実を つける てだすけも しています。1びきの はたらきバチが 集める みつは わずかですが、なかまと 力を 合わせて たくさんの はちみつを たくわえます。

- 1 ミツバチは 花の みつから はちみつを 作る。
- 2 ミツバチは 1びきで たくさんの みつを 集める。
- 3 ミツバチは 花が 実を つける てだすけを する。
- 4 ミツバチは みつを あつめない。
- 5 はちみつは 花ふんから できる。

長い文章を よんで えらぼう

小3／少し長い 文章を よんで、正しい説明を2つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 わたり鳥の たびを よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

つばめは あたたかい き節に 日本へ やってきて、す作りをして ひなを 育てます。さむく になると、南の あたたかい 国へ とんで いきます。何千キロも はなれた 場しょまで、休みながら とびつづけます。同じ つばめが、次の 年も 同じ 家にもどって くる ことがあります。

1 つばめは あたたかい き節に 日本へ 来る。

2 つばめは 冬に 日本で ひなを 育てる。

3 つばめは さむく になると 南へ 行く。

4 つばめは 一年中 同じ 場しょに いる。

5 つばめは 海の中を 泳いで わたる。

2 サケの 一生を よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

サケは 川で 生まれ、しばらくすると 海へ 下って 大きく 育ちます。数年 たつと、生まれた 川に もどってきて たまごを うみます。長い たびの あいだ、たきを とびこえたり、てきにおそわれたり しながら、もとの 川を めざします。

1 サケは 川で 生まれて 海で 育つ。

2 サケは 海で 生まれる。

3 サケは 生まれた 川に もどって たまごを うむ。

4 サケは 一生 海から 出ない。

5 サケは たまごを 海に うむ。

長い文章を よんで えらぼう

小3／少し長い 文章を よんで、正しい説明を2つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 たねの たびを よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

しょくぶつは 動けませんが、たねは いろいろな 方ほうで 遠くへ 運ばれます。たんぽぽは わた毛で 風に のります。おなもみは 服や 動物の 毛に くっついて 運ばれます。さくらんぼの ような 実は 鳥に 食べられ、遠くで ふんと いっしょに たねが 落ちます。こうして なかまを ひろげます。

- 1 たんぽぽは 風で たねを 運ぶ。
- 2 おなもみは 水に うかんで 運ばれる。
- 3 鳥に 食べられて 運ばれる たねも ある。
- 4 たねは 遠くへ 運ばれない。
- 5 しょくぶつは 自分で 歩いて 動く。

2 こん虫の へんしんを よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

チョウは たまご→よう虫（あおむし）→さなぎ→せい虫（チョウ）と、すがたを 大きく かえて 育ちます。これを かんぜんへんたい と いいます。いっぽう、バッタは さなぎに ならず、よう虫が だっぴを くりかえして せい虫になります。

- 1 チョウは さなぎに なってから せい虫に なる。
- 2 チョウは さなぎに ならない。
- 3 バッタは さなぎに ならず に 育つ。
- 4 バッタは さなぎに なる。
- 5 チョウは たまごを うまない。

長い文章を よんで えらぼう

小3／少し長い 文章を よんで、正しい説明を2つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 こおりと しおを よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

水は0度で こおりますが、しおを まぜると、もっと ひくい おんどに ならないと こおりません。ゆきの ふった 道に しおを まくのは、この せいしつをつかって、道を こおりにくく する ためです。ふゆの さむい 地いきでは、道が こおって すべると あぶないので、よく しおが まかれます。

1 ふつうの水は0度で こおる。

2 しおを まぜると こおりやすく なる。

3 雪道に しおを まくのは こおりにくく する ため。

4 しおは 道を すべりやすく する ために まく。

5 水は 何を まぜても 0度で こおる。

2 雨が できる わけを よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

地面や 海の水は、太陽に あたためられて 水じょう気になり、空へ のぼります。上空は つめたいので、水じょう気は 小さな 水や こおりの つぶに もどって 雲になります。つぶが 大きく 重く になると、雨や 雪と なって 地上に おちてきます。

1 水は あたためられて 水じょう気になり 空へ のぼる。

2 雲は 水と かんけいがない。

3 雲の つぶが 大きく になると 雨に なる。

4 雨は 地面から わき出る。

5 水じょう気は 空で こもらない。

長い文章を よんで えらぼう

小3／少し長い 文章を よんで、正しい説明を2つ えらびましょう

なまえ

ひづけ

1 月の 満ち欠けを よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

月は自分で光っているのではなく、太陽の光をはね返してかがやいて見えます。地きゅうから見る月は、日によってまるく見えたり、ほそく見えたりします。これは月が地きゅうのまわりをまわり、太陽・地きゅう・月のいちがかわるためです。月じたいの形がかわっているわけではありません。

- 1 月は太陽の光をはね返して光る。
- 2 月は自分で光を出している。
- 3 月の見える形は日によってかわる。
- 4 月じたいの形が毎日かわる。
- 5 月は動かず止まっている。

2 森のはたらきを よんで、正しい説明を2つ えらびましょう。

森の木は、日光をあびて空気中の二さんかたんそをすいこみ、さんそを出します。木の根は土をしっかりささえ、雨水をたくわえて、こう水をふせぐはたらきもします。だから森は「みどりのダム」とよばれることもあります。

- 1 森の木はさんそを出す。
- 2 森の木はさんそをすいこむ。
- 3 森は雨水をたくわえこう水をふせぐ。
- 4 森は水とかんけいがない。
- 5 木の根は土をくずす。